

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の進捗状況等

資料3-3

議題3

上位目標	人工透析の新規導入者の割合を平成28年度（14.9%）から減少させる。
中位目標	代謝リスク保有者の割合を平成27年度（15.0%）から減少させる。

目標区分	優先順位	評価項目	2023年度	2018年度				今後の対策等
			最終目標	目標	実績	評価	主な取り組み	
健康診査	1	生活習慣病予防健診受診率	67.8%	58.0%	60.3% (31年3月末現在)	○	5月～11月の前年実績+6%を超えた部分についてインセンティブを支払う(上限あり) 新規適用事業所、任意継続被保険者への健診案内の送付	・健康宣言事業所への受診勧奨強化
	2	事業者健診結果データ取得率	8.0%	6.2%	7.1% (31年3月末現在)	○	同意書取得、紙媒体提供分のデータ化を外部委託で実施 健診機関と契約しデータ提供勧奨を実施	・健康宣言事業所への受診勧奨強化 (生活習慣病予防健診の受診がNGの事業所)
	3	特定健診(家族)受診率	29.8%	25.0%	22.4% (31年3月末現在)	×	規模の大きい市で新たに夏の集団健診実施(4市) 閑散期の集団健診実施(県内全域) 受診できる住民健診会場のお知らせ文書送付	・コンビニ健診の案内文書送付エリア拡大 ・年度年齢39歳の被扶養者に対するアプローチ (簡易血液検査キットの活用)
特定保健指導	4	特定保健指導実施率	35.0%	19.0%	20.4% (31年3月末現在)	○	定期的に各機関の進捗管理とフィードバック実施 委託機関との意見交換会を2回実施 対象となる機関を選定し、支部職員による訪問実施	・健診当日における初回面談実施の拡大 (被保険者、被扶養者ともに)
重症化予防	5	未治療者の医療機関受診率	15.0%	11.1%	11.8%	○	支部及び委託による電話中心の勧奨を実施 要精密、要治療判定者に医療機関受診を促す啓発記事を支部HPに掲載する等による啓発活動の実施 他支部、健診機関での勧奨方法、使用媒体などの情報収集の強化	・全国第2位の受診率水準を維持向上させる施策検討
	7	糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者の参加率	10%以上	プログラム参加者 10名	プログラム参加者 3名	△	佐賀県ストップ糖尿病対策会議等に出席し情報共有を図る 参加勧奨文書の見直し等を行い、勧奨文書を発送	・佐賀県の動きと連動させる。 ・支部でも最低1名は実施する。
健康経営(コラポヘルス)推進	6	代謝リスク改善に取り組む事業所数	10社以上	面の拡大 (宣言事業所100社以上)	141社	○	支部内の体制を強化するため、企画総務グループと保健グループによる「健康宣言推進プロジェクト」を編成 被保険者50人以上の健康宣言事業所を中心に事業所カルテを配布 質の向上を目指すための支援方法、使用ツールの作成、人員配置等を検討するためのテストを実施	(「質の向上」のファーストステップとして) ・宣言事業所へのフォローアップを実施し、トップランナー企業を育成する。(業態別、2次医療圏別)

下位目標